

「JR三島・貨物経営安定化PT」第4回会合！

JR三島・貨物が直面する政策課題で意見交換

JR連合は、11月7日、議員会館でJR三島・貨物経営安定化プロジェクト（以下PT）の第4回会合を開催した。



会議には、座長の小川淳也衆議院議員（香川1区）、関係単組の代表者、JR連合役員らが出席した。

冒頭、JR連合の松岡会長は「国鉄改革の残された課題であるJR三島会社・JR貨物の経営安定化に向けて様々な観点から議論を行っていききたい」と述べた。

PT座長である小川衆議院議員は「JR三島会社・JR貨物を取り

巻く環境は、各種支援策が講じられているものの厳しいものがある。平成26年度以降の高速道路問題は各社の経営への影響がとりわけ大きい。政治的な解決を求めていくことも必要である」と述べた。

今回の会合では、①事故やトラブルが相次ぐJR北海道を取り巻く環境や対処すべき課題認識②JR九州の株式上場に際しての各種支援策の対応③高速道路料金問題への対応についてそれぞれ意見交換を行った。

JR北海道問題については、①安全最優先の企業風土の確立②風通しのよい職場風土の構築③協力会社を含めた業務執行体制の再構築等の重要性について意思統一を図るとともにJR他社との比較から見た経営支援の検討について意見交換を行った。また、JR九州の上場に際しての各種支援策や高速道路料金問題への対応については、各社の経営自立計画への影響も大きく、また政治的解決を要する事柄でもあることから、JR連合議員懇談会をはじめ、関係方面と連携した取り組みを行っていくことを確認した。